

コーポレートファイナンス基礎理論 全13回 (講師: 中央大学専門大学院国際会計研究科教授 鈴木一功)



【コンセプト】

ファイナンスが対象とするのは企業の経営活動全般であり、経営管理者にとって経営戦略の策定や事業活動を遂行する上で、ファイナンスの基礎知識は不可欠なものとなっています。この講座は、欧米のMBAコースと同等レベルで、標準的なコーポレート・ファイナンスの理論を一通りカバーし、単なる基礎理論の説明だけでなく、これまでの日本企業の財務行動の問題点と今後の課題について、標準的な理論のフレームワークに基づき解説をしていきます。本講義では、欧米のビジネススクールで、ファイナンスの基本テキストとして高く評価されている『コーポレートファイナンス 第6版(上)』をベースに企業の財務担当者やマネジャーにとって必要なファイナンス理論のエッセンスを分かりやすく解説していきます。(講義時間 合計13時間)

【テーマ】

- 第1回 ファイナンス(企業財務)の役割
- 第2回 現在価値と資本コスト
- 第3回 現在価値の計算
- 第4回 複利計算と債券価格/普通株式の理論価格(1)
- 第5回 普通株式の理論価格(2)
- 第6回 正味現在価値以外の投資決定基準
- 第7回 リスクとリターン/ポートフォリオ理論の基礎
- 第8回 ポートフォリオ理論/資本資産価値モデル(CAPM)
- 第9回 企業の資金調達と市場の効率性
- 第10回 負債政策とMM理論
- 第11回 現実の負債政策
- 第12回 税を考慮した加重平均資本コスト(WACC)と価値評価
- 第13回 オプションの基礎知識

【講義資料より】

コーポレートファイナンスの目的

資金需要者としての企業が、効率的に財務戦略を展開し、企業価値を高めること

その目的のために

1. 企業価値算定のもととなるキャッシュフローと、その現在価値の計算の仕組みを理解する
 - * 現在価値と正味現在価値、複利計算
 - * 債券の価格、株式の価格、プロジェクト価値の評価法
2. 企業の資本コスト(割引率)の決定要因を理解する
 - * リスクとリターンの関係、株式資本コストの理論
 - * 資本構成と企業の平均資本コスト・企業価値の関係
 - * 効率的市場の理論
 - * 企業の平均資本コストと税

Original copyright owned by ©The McGraw-Hill Companies, Inc., 20
Translated and edited portion copyright reserved by Kazumori Suzuki, 2002

【参考図書】

「コーポレート ファイナンス上・下巻(第8版)」
 リチャード・ブリーリー (著)
 スチュワート・マイヤーズ (著)
 フランクリン・アレン (著)
 各 ¥ 5,000 (税別)

